

地域支え合いセンター



丸森町社会福祉協議会
マスコットキャラクター
うぐたん



本年も、どうぞよろしくお願いたします

丸森町社協地域支え合いセンター

令和2年1月20日に開設した地域支え合いセンターは、まもなく活動を始めて3年を迎えます。

被災の影響は数年後に突然表れることがあるため定期的に訪問させていただいておりますが、皆さま受け入れてくださって本当にありがとうございます。

令和5年は神明町営住宅と神明北災害公営住宅が完成し、被災者支援事業も大詰めを迎えます。

おひとりおひとりの生活が落ち着くまで、相談員一同、伴走させていただきます。



オペレーション・ブレッシング・ジャパン

特定非営利活動法人オペレーション・ブレッシング・ジャパン（OBJ）です。

各仮設の集会所・談話室での体操やお茶会、季節ごとの行事を入居されていらっしゃる皆様とご一緒させていただき4年目に入りました。

今年は町営住宅や災害公営住宅の完成に伴い、仮設団地から少しでも安心して転居していただけるお手伝いを心掛けたいと思っています。

今年もどうぞよろしくお願いたします。



東北まちラボ

昨年に引き続き、今年もどうぞよろしくおねがいたします。昨年12月から神明住宅の一部入居が開始され、今年は町営住宅・災害公営住宅にお住まいになれる方々の入居が始まります。楽しみですね！！

神明住宅・神明北住宅での新しい生活の中で心配な事や不安な事があると思いますが、みなさんが楽しく・活き活きと暮らせる地区になることを願っています。





活動開始から2年目になるまなびの森移動教室。丸森地区と金山地区でそれぞれ毎週1回ずつ子どもたちの居場所を開いています。現在は小1から中3の65名が利用しています。

子ども食堂や運動体験の場で地域のみなさんとふれあうことで、子どもたちにとって安心できる居場所づくりが実現できています。丸森地区では主任児童委員や婦人会の皆さん、カワカフェ星野さん、金山地区では金山団地ばあばの会や更生保護女性会の皆さん、加えてまるもり町青年団 Re:birth. やスポーツ推進委員の方々など、今年もご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



神明住宅の入居が始まりました



丸森町に初めて町営住宅が建設されたのが昭和41年のこと。昭和43年までに15戸が整備され「鳥屋住宅」と呼ばれるようになりました。その後、昭和47年から昭和61年にかけて「神明住宅」106戸が建設されました。

このふたつの町営住宅も、令和元年東日本台風で浸水被害を受け老朽化も進んでいたことから、解体されました。鳥屋住宅は神明地区に集約することとなり、現在神明住宅90戸の再建工事が進められています。

令和4年12月1日には、最初に完成した第1工区24戸の鍵の引き渡しが始まり、年末までに引っ越しを終えた皆さんが新たな住居で令和5年を迎えました。

